

# 活動情報

問合せ先

TEL 0948(23)4154

FAX 0948(29)4866

e-mail iizuka-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

園芸畜産課 果樹係



第 12 号

## 大敵フジコナカイガラムシから、カキ産地を救え！

— 交信かく乱剤による防除体系確立に向け、現地適応試験実施中 —

飯塚市は、県内でも有数のカキの産地で、共同販売の金額も1億円を超えます。しかし、カキ栽培の難防除害虫フジコナカイガラムシの食害により、果皮の変色やすず状の汚れを発生させたり、冷蔵保存中に果実をやわらかくすることで、カキ農家の経営に大きな影響を及ぼしています。

そこで、農薬メーカーと県農林業総合試験場、飯塚普及指導センターは、一昨年から従来の農薬でなく雄雌の交尾を阻害する交信かく乱剤（人工性フェロモン）を利用した防除の現地適応性試験に取り組んでいます。

交信かく乱剤は果実のヘタ裏など農薬がかかりにくい場所に潜む害虫(図1)にも有効なため、効果的な防除が期待されています。また、従来の農薬より人と環境に優しい防除技術です。現在、防除効果を確認するため、飯塚市庄内で目視による生息状況調査(図2)、やトラップによる雄成虫捕捉調査(図3)を関係機関と協力して進めているところです。

普及指導センターは、今後もカキ産地の振興とともに、大敵フジコナカイガラムシの防除技術の確立を支援していきます。

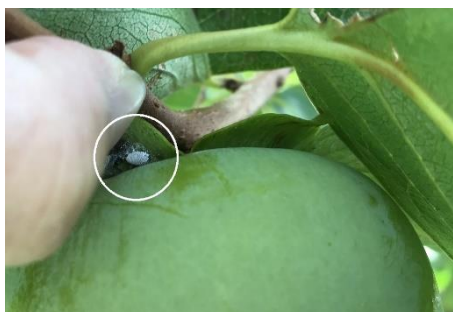


図1 果実のヘタ裏に生息しているフジコナカイガラムシ



図2 目視による生息状況調査



図3 トラップによる捕捉調査